

日本語日本文学専攻 博士課程後期

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本専攻博士課程後期では、以下の能力と資質を有する者を受け入れる。

- AP1 博士課程前期で修得した、日本文学・日本語学及び関連諸学に関する高度な専門知識を活かして、学問の発展へ貢献しうる人。
- AP2 各専攻分野で修得した思考を深めることで、研究者としての仕事と生き方についての知見を持ちたい人。
- AP3 学問的思考を深めることで、学位取得を目指す人。
- AP4 博士課程前期で培った専門知識と研究方法により、更に高度で独創的な研究の継続を希望する人。
- AP5 本専攻で学んだ技能を活かして、研究職、教育職を目指し、社会貢献をしたいと思っている人。

上記 AP 1 は筆記試験によって、AP 2～AP 5 は口述試験及び提出書類によって評価する。